

株式会社やまや萬松閣環境行動計画

平成 23 年 6 月 24 日

取 組 方 針

株式会社やまや萬松閣は、みどり豊かな木々に囲まれた温泉旅館であり、脈々と湧き出でる自然の恵みである温泉をお客様に提供し、お食事も地産地消のお料理でおもてなしを心がけております。

また、当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指してまいります。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動中での省エネルギー(電気・重油・水)と省資源(節水等)
- ② 廃棄物排出量の削減・リサイクルの推進
- ③ 資源(温泉・水)の有効な利用を図ります。
- ④ 自らグリーン製品を使用、その提案、普及に努めます。

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成 23 年 6 月 24 日

株式会社やまや萬松閣

代表取締役社長 山谷恭子

3 環境負荷低減の取組

弊社では事業活動に伴う環境負荷を削減するため、取組目標及び具体的な取組内容を設定して取り組むこととします。

内容は以下のとおりです。(いずれも平成 22 年度を基準としております。)

[目標①]二酸化炭素排出量削減の取組

二酸化炭素の総排出量を平成 24 年度までに 2%削減する。

[具体的な取組内容]

設備(照明・空調)での省エネルギーに努める

(照明)

客室の清掃時には自然採光を利用し、消灯、減灯する。

不要箇所、不要時間帯の消灯を徹底する。

照明器具を定期的に清掃する。

通路の照明を支障のない程度に間引く。

白熱球から電球型蛍光灯に更新する。

省エネルギータイプの FFE や LED 照明を導入する。

高輝度誘導灯を導入する。

(空調)

空調の設定温度を適正に管理する。

客室の清掃時には、不要な空調機(ファンコイル等)を停止する。

カーテン、ブラインドを利用して、室内への日射と通風を調整する。

窓ガラスに遮熱フィルムを貼付する。

空調機器、厨房機器のフィルターを定期的に清掃する。

使用していない客室等は空調停止や照明、冷蔵庫等家電製品の電源を切る。

ファンやモーターにインバーターを設置し、制御する。

屋根に日射防止になる遮熱塗料を施工します。

夜間の空調機の運転管理を徹底する。(停止時間・切り忘れ防止等)

空調配管の断熱状態をチェックし、必要に応じて断熱を強化する。

厨房、宴会場、パントリー等のバックヤードの排気ファンを必要以上に運転しない。

(熱源)

インバーター装置の設置により、モーター回転数を制御する。

空調の出口、入り口温度の設定を適正な温度に変更する。

温泉等の廃熱の回収利用を考える。

(受電、変電設備等)

契約電力の低減可能性を検討する。

デマンドを管理・適正化する。

自動販売機の省エネ可能性を検討する。

浄化槽施設のポンプ・ファンの稼働時間の適正化。

[目標②] 廃棄物排出量の削減・リサイクルの推進の取組

今までの廃棄物の使用量は把握できなかったもので、当面は資源の有効利用とリサイクルの推進に努め、廃棄物の排出量の削減を図り、将来的には目標の数値化をする。

具体的な取組内容

繰り返し使用できる商品(エコ箸等)を利用する。

仕入・納入には出来るだけ通い箱を使用する。

詰め替え可能な製品を優先的に購入・使用する。

製品を出来るだけ長時間使用する。(修理できるものは修理して使う)

生ごみがでないように、分量の適正を調査し精査する。(調理場や洗い場)

シュレッダーの使用は、精密書類に限定し紙のリサイクルに努める。

[目標③]適切な資源利用の取組

水の使用量を平成 24 年までに 2%削減します。

具体的な取組内容

パントリー、厨房等館内に節水を呼びかける標語シールを掲示する。

水道管から漏水をしていないか、定期的に点検をする。

流水による食材のさらし方、解凍方法をマニュアル化する。

食器は、事前に食べ残し等を取り除いてから洗浄するように指導する。

食器等の洗剤は適正な量を使用する。

食器洗浄時は効率的な水の利用に取り組む。

掃除等での水の流しっぱなしは、しないように注意する。

露天風呂付客室の浴槽は、必ず給湯ではなく温泉ではるように徹底する。

[目標④] グリーン購入の推進・地域の環境保全・環境教育の取組

環境に配慮した OA 機器・事務用品の使用・普及と地域社会への貢献活動を推進する。

具体的な取組内容

会社で使用する OA 機器・事務用品などはグリーン製品から選択する。

従業員がグリーン製品に関する商品知識を身につける。

名刺、カタログ、封筒、コピー用紙には再生紙を使うようにする。

地域で行なう清掃活動に積極的に参加する。

温泉のすばらしさの啓蒙活動に努める。

取組方針に宣言された取組の方向性を理解するように指導する。

取組目標を理解し、目標を達成するために、各自の役割・責任を自覚する。

環境行動計画の実施体制

この環境行動計画に沿って環境保全活動を推進するために、環境管理責任者を委員長(社長)とする環境推進委員会を設け、全従業員が「具体的な取組」を十分に理解し、実行いたします。

萬松閣 組織図

2011.6~

